

中里高校の存続を

県教育長へ要望書

来年度の募集停止が協議されている中里高校の存続を要望しようと、10月1日(火)に濱館町長、長利議会議長、小寺也人PTA会長ほか関係者が県庁を訪れ、和嶋延寿县教育長に同校存続の要望書を手渡ししました。県教育委員会で2017年策定の「県立高校再編に関する第1期実施計画」では、同校は生徒の通学事情を考慮して県内に6つある「地域校」に指定。存続の要件であった募集人員に対する入学者数が、2年連続で2分の1未満のため、来年度の募集停止を県教委と中泊町で協議してきました。



濱館町長は「子どもがいなくなったから高校をなくしてもいいのか。県の地域政策、そして若者定着のため今一度考えていただきたい」と訴えました。和嶋県教育長は「地元の人たちに育てられている学校」と認識を話し、今後の会議で対応を検討すると回答しました。

文化祭も地域とともに 中里高校文化祭

生徒たちの学校生活の記録や、地域貢献の様子を展示し、模擬店やステージ発表が催された中里高校の文化祭が10月13日(日)に同校で開催されました。展示コーナーでは、中里高校のこれまでの歩みや最近の活動をまとめた写真展のほか、各部活動や授業の成果が並び、家庭科夏休み課題発表コーナーでは町の特産であるトマトやブルーベリーを使った生徒オリジナルレシピが展示されていました。ステージ発表では、平成27年からなかどまりまつりの囃子に携わっていることから、ねぶた囃子とメバルねぶたが披露されたほか、山王坊日吉神社(五所川原市市浦)のお田植祭や抜穂祭で交流のあった「嫁こさ来いシスターズ」による手踊りも行われました。そのほか、かつて世界一辛い唐辛子と言われ、新たな町の特産品として注目の「ジョロキア」を使った激辛料理の販売もありました。来校者数は延べ228人で、地域とともにつくった文化祭は大盛況の内に幕を閉じました。

～高校再編～

中里高校 来年度募集停止へ

県教育委員会では10月23日(水)に県庁で臨時会が開かれ、中里高校を含む県内3つの「地域校」はいずれも来年度募集停止が決まりました。10月1日に県教委へ存続を要望した濱館町長は、決定を受けて「決定に対して異論を申し上げるつもりはない。ただ、津軽半島北部に高校が無くなることで、県の地域施策として本当にいいのか—という思いは、これからも県に届けたい」と話し、また、同校1年生の教材代を一部負担したほか、メバルねぶた作りや、地場産品を使った激辛料理グランプリなどに生徒たちが協力してきたことに触れたあとに「地元で高校が無くなることで、経済的な理由から通学できない子どもが出る可能性がある。その点は県も一緒に考えて欲しい」と要望しました。



おばけなんかこわくない!

駅ナカでハロウィンパーティー

いいなかどまり会が、10月19日(土)津軽鉄道中里駅内の駅ナカにぎわい空間でハロウィンパーティーを開催しました。今年は約150人が参加し、それぞれ工夫をこらした衣装を身にまとい、交流を楽しんでいました。

今年は、昨年が続くおばけ屋敷やミニゲームなどが実施されたほか、中里・富野・薄市の3こども園の園児たちによるステージ発表がありました。園児たちはこの日のための曲目でダンスを披露したり合同で歌ったりして、会場を大いに沸かせ、パーティーは終始大盛況で幕を閉じました。



安心して暮らせる町をめざして

第6回中泊町
社会福祉大会

町社会福祉協議会が10月18日(金)に総合文化センター「パルナス」で社会福祉大会を開催しました。全2部構成で行われ、第1部では各種表彰を含む式典、第2部では近年巧妙化・悪質化が著しい消費者問題を取り上げた「消費者ブロックフォーラム in 中泊」が開かれました。

フォーラムの講師には、元消費者庁長官の阿南 久^{あなん ひさ}さんを講師に、「ともに学び かしこい消費者になろう!!」と題した、消費者問題を地域のつながりで減らしていくための基調講演が行われました。

講演の後は、フォーラムの実行委員会の構成員らそれぞれの所属団体が消費者問題に対して何ができて、町全体でどのように取り組むべきかが発表がありました。発表をきいた阿南さんは「様々な立場の団体があることに驚いた。そのネットワークの力で“つながり”を作り、消費者被害を減らすことで、人々の生活が豊かになっていくと思う」と感想を伝え、エールを送りました。



ごみの処理の過程を学ぶ

4年生児童たちがごみ学習会

➤ びごみ処理過程を各施設を巡って学ぶ「ごみ学習会」
 ↳ が9月25日(水)に武田小学校で、9月26日(木)に中里小学校で実施されました。

学習会は、4年生の社会科の授業と関連させて行われ、2校とも4年生の児童たちが町最終処分場や西部クリーンセンター(つがる市稲垣)を見学しました。児童たちは、最終処分場で発生する汚水がきれいになる様子や、燃やせるごみをクレーンで運ぶ様子に、好奇心で目を輝かせながらメモを取っていました。同学習会は、10月24日(木)には薄市小学校でも4年生を対象に行われました。



敬老会の顕彰状を伝達

濱館町長が訪れ手渡す

敬老会に足を運べなかった顕彰者のもとを濱館町長が訪れました。9月27日(金)にはきりん館、10月7日(月)にはすい賓荘、泉の里、やまなみ、宝森を訪れ、88歳となった人たちに「おめでとうございます。これからも元気でいてください」と顕彰状を手渡しました。

顕彰状が手渡されると、同じ入所者や施設職員とともに写真を撮ったり、談笑したりして、長寿を祝っていました。

防災・減災への知識を高める

町社協が防災体験事業実施

防災や被害を最小限にとどめるための知識取得や住民同士の関係づくりを目的に、町社会福祉協議会が防災体験事業を9月27日(金)に体育センターで実施しました。

(一社)コミュニティ・4・チルドレンの福祉・防災学習コーディネーターである菅原清香さんを講師に迎え、「高めよう防災力 深めよう地域の絆」と題した講義や、「避難所たすけあいゲーム」で、防災への意識向上を図りました。また、身近にある物の活用法を学ぶ実技では、ポリ袋を使ったカップづくりや新聞紙をつかったスリッパづくり、ラップを活用した包帯法を学びました。そのほかにも、ダンボールベッドなどの防災グッズの展示もあり、普段の生活では体験することができない貴重な機会となっていました。



小中学生対象ワークショップ開催

教育委員会総務学務課

➤ どまり小中学校建設事業(仮称)に係るワークショップが
 ↳ 10月4日(金)には小泊中学校、10月11日(金)には小泊小学校で実施されました。

ワークショップでは、専門家のアドバイスをもとに、新校舎の教室の看板などで使うデザインの家を考えました。実際に校舎を使用する児童・生徒らの意見を取り上げ、建設の記念にする狙いがあります。

バス利用状況などの報告

あらま号の運行協議会

奥 津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バス運行協議会(会長・中島久彰今別町長)の今年2回目の会合が9月30日(月)に中泊町役場で開かれました。

会合では、昨年10月から今年9月23日までの利用者数が3,097人で1便あたり1.06人、9月末までは3,153人で1便当たり1.08人となる見込み数で、国の補助金交付基準の1便当たり1人を上回る見通しであることが報告されました。そのほか、イベント時などで使えた半額割引券発行が令和元年9月末で終了すること、利用促進を目指してバスのラッピングや津軽弁の車内アナウンスを導入することを確認しました。



地域で乗り越えるために

小泊中学校で合同訓練

第6回目となる合同防災訓練を、中泊町区分区日本赤十字小泊奉仕団が10月7日(月)、小泊中学校で開催しました。この訓練には、下前・新町2・折戸地区の3自主防災会と小泊中学校生徒、民生委員や同奉仕団員など約100人が参加しました。開会式で濱舘町長は「予期しない災害で何をすべきか普段からの心構えが大切。いざという時に地域を守る意識で取り組んでいただきたい」とあいさつしました。

訓練では、身を守る知識や判断力を身につける講話や映像上映、ハイゼックスを用いた炊き出し訓練が行われました。また、小泊消防署隊員を講師に招いた講習会も開かれ、心肺蘇生・救急法の指導を受けました。



われました。また、小泊消防署隊員を講師に招いた講習会も開かれ、心肺蘇生・救急法の指導を受けました。

感謝の気持ちで地域へ貢献

「シルバーの日」奉仕活動

毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」とするシルバー人材センターが、10月9日(水)に「シルバーの日」清掃奉仕活動を中央公民館で実施しました。開催に当たって近村敦理事長は「現在206人の会員数で、就業機会や生きがいを提供できている。今後も皆さんと地域貢献をしていけるようよろしくお願いします」とあいさつしました。

この日は天候を考慮し、毎年恒例の交通安全パレードは予定を変更して、中里こども園による鼓笛演奏の披露が館内で行われました。続いて、村上智中里駐在署長が「最近の警察情勢」と題して、中泊町近辺の情報などを話しました。そして、お馴染みとなっている小向千鶴子さんによる「自分だけは大丈夫?」と題した講演も行われ、参加者たちはときに笑いながら聞いていました。

10月16日(水)には、延期していた屋外清掃奉仕活動が行われ、カーブミラー拭きやごみ拾いが行われました。





交通死亡事故5年間ゼロ

知事から表彰状

交通死亡事故が中泊町で5年間ゼロだったことから、知事表彰を受けました。10月8日(火)には濱館町長が県庁を訪れ、三浦朋子県環境生活部長から表彰状を受け取りました。

濱館町長は「表彰は町民にとって名誉で、各団体の活動をはじめとするみんなで頑張った成果。今後も交通事故ゼロの維持に取り組んでいきたい」と話しました。

今後も、町民の皆さんの手で、交通死亡事故ゼロの維持を目指していきましょう。

絵画と書道のウデを磨く

MOA美術館中泊作品展開催

子どもたちの創作活動を奨励し、「生命を尊ぶ心」と「心豊かな人間形成」を目的にMOA美術館(静岡県)が実施する児童作品展。10月12日(土)・13日(日)には、中央公民館で中泊児童作品展が開催されました。

今年、絵画119点、書写226点の計345点の作品が寄せられ、13日(日)に同館で表彰式が行われました。MOA美術館奨励賞の作品は、全国区のMOA美術館児童作品展に出展されます。

なお、各賞は次のとおりです。

- MOA美術館奨励賞… 山下奈々美(薄市小6) / 成田理音(小泊小3)
- (株)東奥日報社賞… 秋元理希(薄市小6) / 赤石徠翠(中里小6)
- 中泊町長賞… 新岡姫麻莉(武田小3) / 本庄音葉(中里小5)
- 中泊町議会議長賞… 木村陸(中里小4) / 久保田理夢(小泊小3)
- 中泊町教育長賞… 伏見優汰(薄市小2) / 加藤心春(中里小6)
- 中泊町連合PTA会長賞… 平山真由(薄市小4) / 佐藤洸史郎(薄市小6)
- 保護司会中泊分会会長賞… 北畠晏(薄市小1) / 菅原有紗(武田小6)
- 中泊町更生保護女性会会長賞… 中村龍真(中里小1) / 坂田多優(中里小4)
- 中里町自然農法研究会会長賞… 塚本帆夏(武田小5) / 黒滝和(中里小6)
- 金賞… 葛西天翔(武田小2)
 - 佐々木海音(薄市小6)
 - 外崎香豊(中里小2)
 - 角田藍花(小泊小5)
- 銀賞… 松館彩七(薄市小1)
 - 白塚逞人(薄市小3)
 - 成田七星(薄市小2)
 - 佐野陽菜(武田小5)
- 銅賞… 須藤龍生(中里小1)
 - 長谷川伊織(小泊小2)
 - 磯野海桜梨(小泊小2)
 - 高橋茜音(小泊小4)
- 佳作… 伏見啓太(薄市小1)
 - 内海蒼(小泊小1)
 - 黒田翔(薄市小3)
 - 奈良幸歩(武田小4)
 - 菊池心葉(中里小4)
 - 奈良悠真(中里小5)

